食料経済学特論 I (2単位)

担当者氏名 堀田和彦

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

本特論では日本農業の再生に向け、日本農業の現状、日本農業再生のための方策について検討を行い、上記課題の解明に貢献できる人材の養成を目指す。日本の農業問題について実態の説明ができ、解決の具体的方向性が提示できるようになることが到達目標である。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

日本農業再生

企業の農業参入

農業政策

経営者能力

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
と を	1 日本農業の課題 1	家族経営の課題	講義を通じて、受講者は「分かったつもり」で済ませるのではなく、「分かりやすく説明できる」ようになる努力を求めたい。討論形式での講義、発表者とコメンターは事前に資料を熟読すること (毎回の準備・復習時間は、それぞれ1~2時間程度を目安とする)
	2 日本農業の課題 2	企業的農業経営の課題	
	3 日本農業の課題 3	集落営農の課題	
	4 現代農業の歴史背景	家族経営の変遷	
	5 現代農業の現状認識 1	企業的経営の現状	
	6 現代農業の現状認識 2	上記経営のネットワーク化の現状	
	7 地域社会の構築	集落の実態	
	8 地域農業の構築 1	六次産業化の可能性	
	9 地域農業の構築 2	作業受託組織の可能性	
	10 農業経営の革新方向 1	大規模化について	
	11 農業経営の革新方向 2	経営管理の高度化について	
	12 農業経営の革新方向 3	企業化について	
	13 農業経営の管理革新 1	生産管理について	
	14 農業経営の管理革新 2	販売管理について	
	15 農業経営の管理革新 3	資金管理について	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所 (発行年)

日本農業再生のポイント 上・下 木村伸男著 農林統計出版 2012年

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所 (発行年)

特になし

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

授業内での発表および討論内容で判断 (発表内容60%、討論質問内容40%)

◆オフィスアワー

毎週講義日の昼休み (12時10分~13時)

◆その他受講上の注意事項

授業中に指示をする。